

2019 年度輔仁大学日本語文学科国際シンポジウム

「文化と災害」

研究発表者募集

主 旨：

ここ十数年、世界各地ではさまざまな災害が発生し、各国の経済や人々の生活に多大な影響をおよぼしています。日本、台湾も例外ではありません。2011年に発生した東日本大震災は、今も東北地方に大きな爪痕を残し、日本に未曾有の災いをもたらしました。さらに、2018年は「災」が今年の漢字に選ばれるなど、日本各地が天災に見舞われた年でもありました。台湾も毎年のように台風が猛威をふるい、さらに地震も多発する地域であり、日本の惨状は決して他人事ではありません。こうした天災の他に、テロやパンデミックの恐怖なども決して遠い世界の出来事ではなくなりつつあります。社会的に見れば、仕事と関連して発生する労働災害なども、考えなければなりません。

ただ災害をもたらすのは、日常の破壊だけではありません。2011年の東日本大震災では、台湾から日本へ200億円あまりもの義援金が送られ、日台双方の交流が盛んになるきっかけの一つとなりました。また「災害文化」といった言葉が示すように、災害から伝承すべき文化が生み出されることもあります。それでは、さまざまな災害がありえるこの世界で、人文社会学は何ができるのでしょうか。また天災、人災を含む災禍の後、どのような「文化」が求められ、生まれたのでしょうか。こうした問題を考え意見を交換する場として、本シンポジウムを実施したいと考えています。ぜひ皆さまの意欲ある論考をお待ちしております。

関係領域：日本語文学、日本語教育、日本関連研究に関わる諸研究領域

主 催：輔仁大学日本語文学科

会 場：輔仁大学徳芳新外語大樓（暫定）

日 程：2019年11月16日（土）

発表方法：

- (1) 使用言語：(原則として) 日本語
- (2) 発表時間：一人30分（口頭発表20分、質疑応答10分）
- (3) 申込方法：E-mail

「発表申込用紙」(添付資料一)にご記入のうえ、メールで下記のアドレスまでお送りください。

024668@mail.fju.edu.tw (担当：横路啓子 電話：+886-2-29052595)

お問い合わせも上記メールにお願いいたします。

(4) 申込期限：**2019年3月15日【必着】**

申込をいただいた後、内部審査を行います。審査の結果は3月末までにお知らせいたしますが、もし

こちらから合否のご連絡がいかない場合は、お手数ですが、再度メールかお電話でご連絡くださいますようお願い申し上げます。

(5) 予稿の締め切りは**10月15日**となります。なお、予稿の書式は添付資料二を参照してください。

(6) おおまかなスケジュールは以下のとおりです。

申込：2019年3月15日（必着）

審査結果のお知らせ：3月末

予稿提出：10月15日

シンポジウム当日：11月16日